



3対2ランゲーム（ブロック）

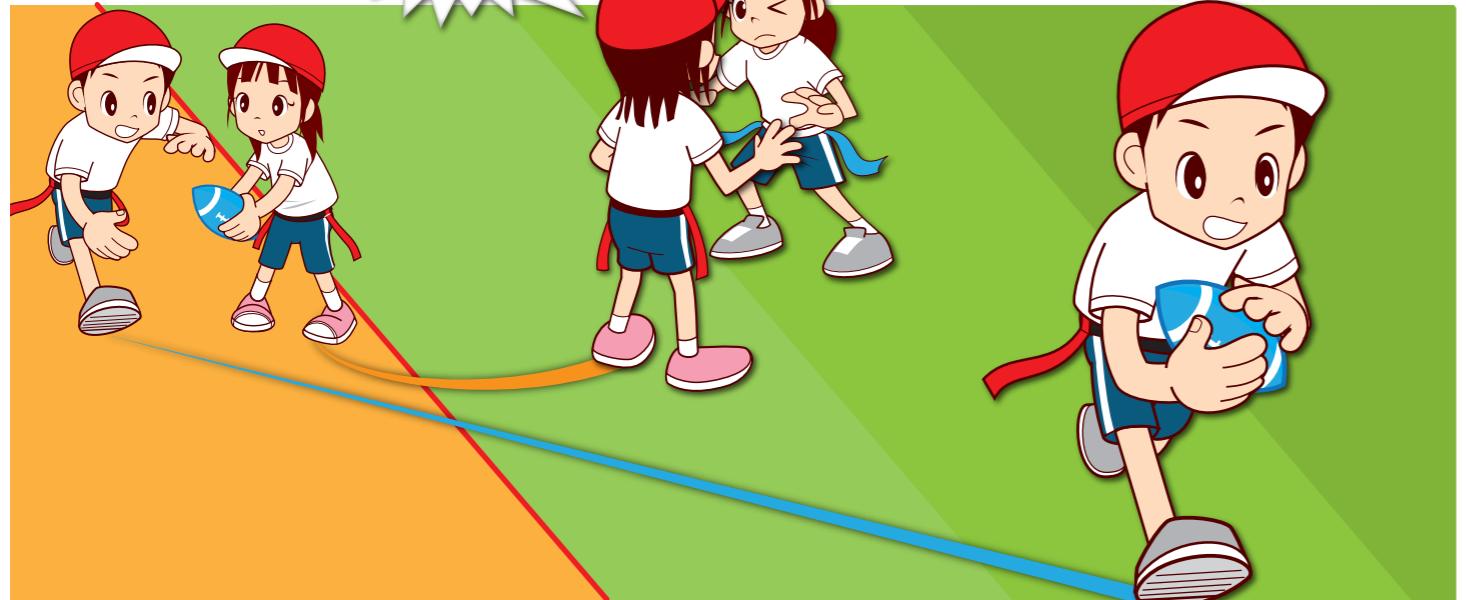
守りの前に立って、攻める味方の道をつくる「ブロック」を学ばせたい時に適したゲームです。

学ぶ動き

かべになってなかまの走るみちをつくるプレー 「ブロック」をまなぼう！

かべをつくる!
ブロックですすめないよー

タイミングをあわせてはしりぬける



ポイント（ブロック役）

- ・ボールを持って走る人との位置取りやタイミングを合わせる
- ・味方の進行方向へ守りが近づけないようにするために、遮るように横を向いて立つ

ポイント（走る役）

- ・ブロックとの位置取りやタイミングを合わせる
- ・ブロック役を信じて、走りぬける

安全管理のポイント

- ・フィールドの横幅が十分に確保できない場合は、ブロックの方法を両手を広げてではなく、「肘を曲げた状態で、腕を締め、掌を前にする」としたほうがいいでしょう
- ・「相手とは絶対にぶつからない」ことを徹底したほうがいいでしょう

3対2ランゲームの動画



- 左記QRコードをスマートフォンやタブレット端末で読み取ってください。

ゲーム内容



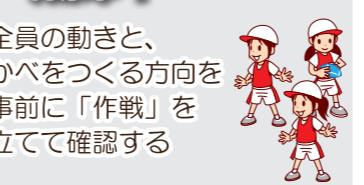
攻めるチームは3人1組で、1人は「ボールを持って走る役」、2人は「ブロック役」となります。スタートラインからスタートし、3人で協力してボールを持っている人がゴールラインを越えれば1点となります。

守りはボールを持っている人のフラッグを取るか、ボールを持っている人をサイドラインから追い出せば1点となります。

2チームに分かれて行い、チームの全員が「ボールを持って走る役」をしたら、攻守交替します。

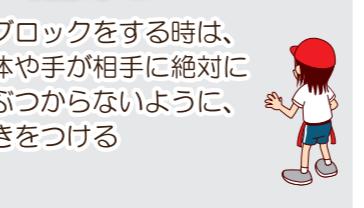
約束事1

全員の動きと、かべをつくる方向を事前に「作戦」を立てて確認する



約束事2

ブロックをする時は、体や手が相手に絶対にぶつからないように、きをつける



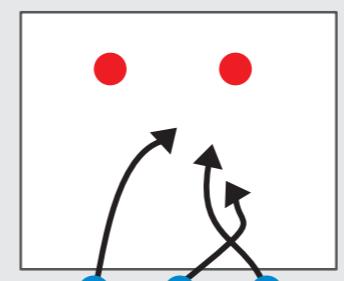
言葉かけの例

「ブロックは壁をつくる役割だよ」
「今のブロック上手だね！」
「ブロックで道を作れたのがよかったね」
「○○さんのブロックが上手だから、△点とれたね！」

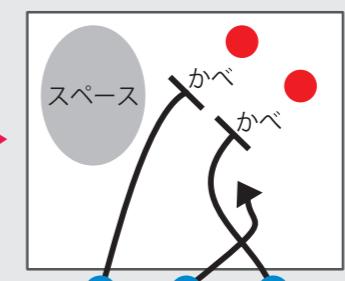
ブロックがどこに立つと、フラッグを取ろうとする守りの人を防げるか考えさせます。
ボールを持って走る人のコース取りによっても、ブロックがしやすくなります。
作戦は右、中央、左の3つの空いているスペースを中心に考えさせるとよいです。
全員を集めてブロックの動き方を実演しながら説明すると効果的です。



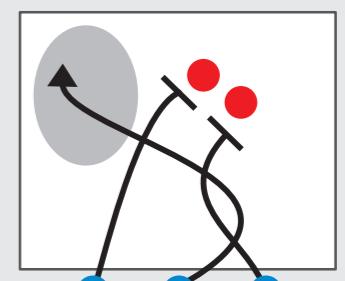
ホワイトボードでの説明例



ボールを持った人が右に移動して守りを引き付けて、



ボールを持ってない二人がブロックをして、



出来たスペースへボールを持った人が走り込む

フラッグフットボールのFacebook 毎日更新中！

